



## 【気象庁の業務】

気象庁では、災害の発生のおそれがある時に発表する防災気象情報、日々の暮らしに活用される情報、さらには地球環境問題といった様々な情報を適時・適切かつ分かりやすく提供することによって、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに貢献することを任務としています。

この任務のため、気象や気候、海洋、地震、津波、火山等の自然現象の観測・観測、観測データの取得・収集、スーパーコンピュータ等をはじめとする各種システムを活用した解析・予測、情報の作成・提供、さらに、それらに必要な調査・研究などの業務を行っています。



## 【採用及び業務内容】

現在気象庁では全国で約 5,000 人の職員が勤務しています。勤務地は気象庁本庁、全国の管区・沖縄気象台、地方気象台等で、転勤は各管区等の管轄ブロック内を基本として2～3年おきに行う可能性があります。なお一般職は、気象庁本庁では行政区分のみ、各管区気象台は行政区分、技術系区分の官庁訪問を行っています。

【行政区分】総務：職員の人事管理、給与、福利厚生など、会計：予算、契約、物品・国有財産管理など。

【技術系区分（物理、デジタル・電気・電子、化学、土木）】気象を始めとする自然現象の観測、天気予報や警報・注意報および地震・津波・火山等の情報作成・発表、調査統計、防災に関する普及啓発活動など。

## 先輩職員からのメッセージ

私は気象庁本庁の総務部人事課に所属しています。人事課では、職員の採用や給与の計算、育児休業等の承認を行っています。その他にも、研修や健康診断の企画・実施など、職員が働きやすい職場環境をつくるため日々業務に取り組んでいます。

私が担当しているのは、全職員が加入している共済組合（医療保険）に関する事務です。職員が医療機関を受診した際の費用の負担や、休業して給料が出ない職員への給付金の支給など、職員が安心して働けるような取り組みを行っています。

人事課の業務では直接気象を扱う場面は少ないですが、職員への人事面からのサポートという形で間接的に気象業務に貢献することができる部署であり、これまでに気象を学んだことがない人でも活躍できます。自然や防災に興味がある方、ぜひ一緒に働きませんか。

（令和4年度行政区分・人事課採用）



私は現在総務部企画課に所属しています。

課内の庶務業務に加えて、気象庁全体の部署の新設・廃止について国土交通省や財務省に説明・要求を行う組織要求作業や、所掌事務などを定めている組織細則の改正作業を担当しています。組織関係の業務は、気象庁が将来に向けて特に力を入れていくべき分野に関わっているので、この業務を制度面から支えることができる今の部署に、とてもやりがいを感じています。

まだまだ知らないことも多いため、上司や諸先輩方、同期にアドバイスを頂きつつ仕事をしている毎日ですが、職員間の距離が近く、気軽に相談もできる職場環境で、不安なく業務にあたることができています。また事務職採用でも、技術職の職員と一緒に仕事をする機会もあるので刺激を受けまし、自分の仕事が「国民の命を守る」という一つの大きな使命に繋がっていることを実感できる職場です。

皆さんも防災情報の第一走者として、私たちと一緒に働きませんか？

（令和3年度行政区分・総務課採用）

